

国立大学歯学部附属病院におけるBSCの試み

平成15年3月26日

ランキングの基準

基準1 財務の視点

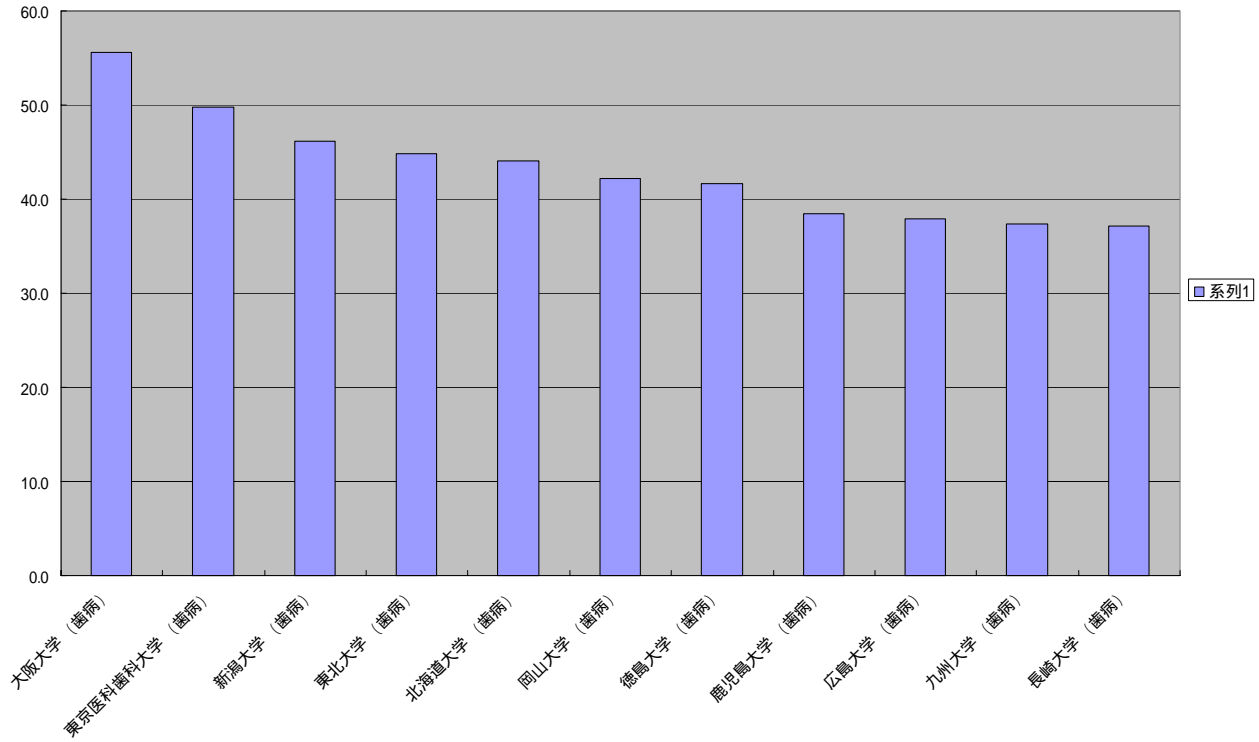
基準2 経営の質に関する評価指標

基準3 相関の低い指標

基準1

財務の視点：医業収支率

医業収支率



医業収支率ランキング

- 1 大阪大学 (歯病)
- 2 東京医科歯科大学 (歯病)
- 3 新潟大学 (歯病)
- 4 東北大学 (歯病)
- 5 北海道大学 (歯病)
- 6 岡山大学 (歯病)
- 7 徳島大学 (歯病)
- 8 鹿児島大学 (歯病)
- 9 広島大学 (歯病)
- 10 九州大学 (歯病)
- 11 長崎大学 (歯病)

基準2

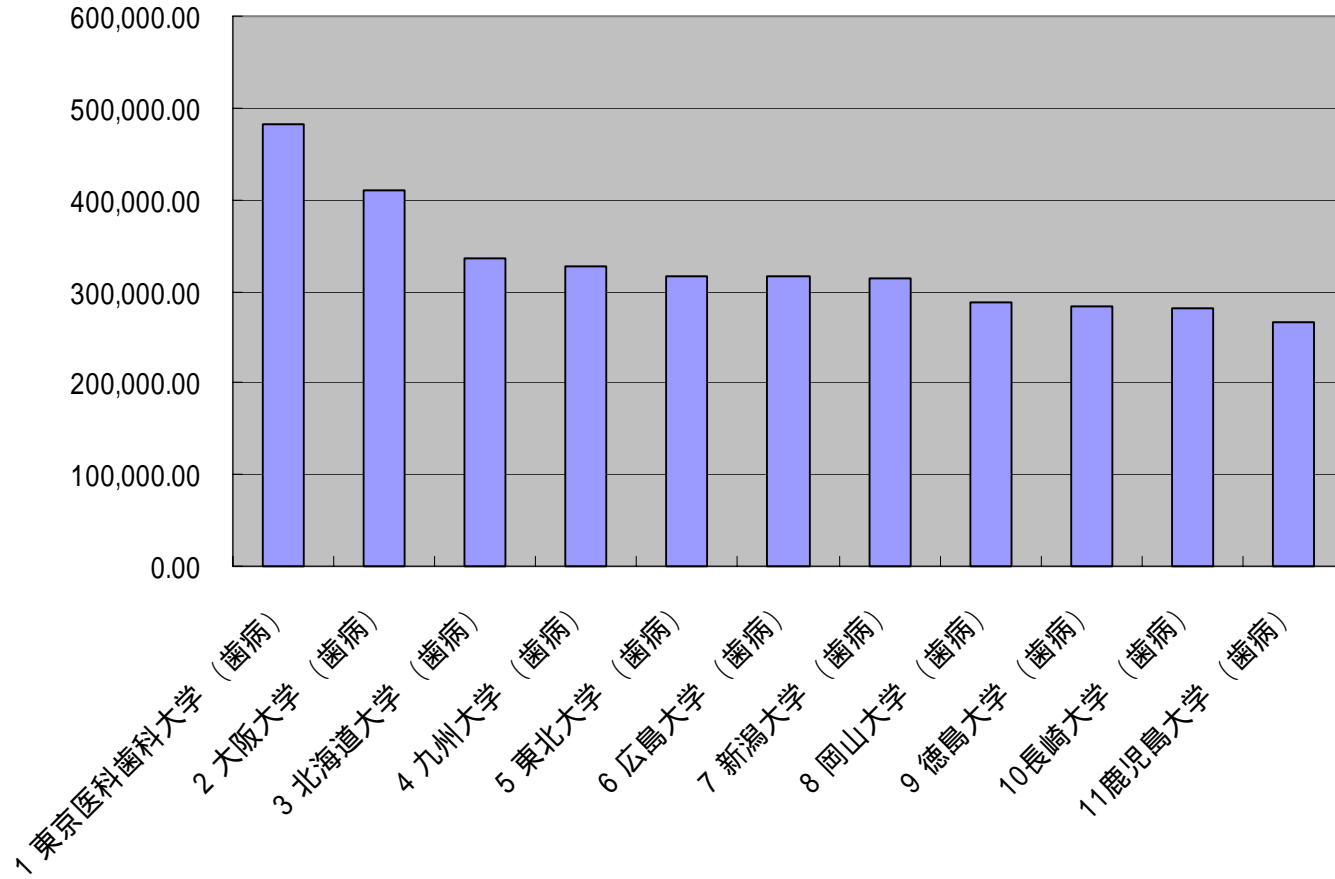
伝統的に用いられている「経営の質」に関する評価指標を使用

- －成長性：外来新患比率など
- －収益性：平均在院日数、患者1人1日診療収益、病床利用率、
総資本医業利益率、総資本回転率など
- －生産性：職員1人当診療収益、院外処方箋発行率など
- －費用の効果性：人件費率、材料費率、医薬品費率、経費率など
- －安定性：自己資本比率、固定長期適合率など

ランキング作成方法

1. 指標の平均・標準偏差を算出
2. 1.で決めた平均・標準偏差で、病院の各指標を標準化*
* 標準化(病院別数値－平均) / 標準偏差
3. 数値が高いほど評価が高い数値は標準化した値の正負を逆にする
4. ポイントの高い順にランキング

基準2ランキング



基準2 ランキング

1. 東京医科歯科大学(歯病)
2. 大阪大学(歯病)
3. 北海道大学(歯病)
4. 九州大学(歯病)
5. 東北大学(歯病)
6. 広島大学(歯病)
7. 新潟大学(歯病)
8. 岡山大学(歯病)
9. 徳島大学(歯病)
10. 長崎大学(歯病)
11. 鹿児島大学(歯病)

基準3

- ・ 指標間のバランスを考慮し、相関が低い指標の組み合わせによってランキング
- ・ 指標間のウエイトは同じ

基準3

- ・ **学習と成長の視点**

 - 外来新患率、外来入院患者比率

- ・ **内部プロセスの視点**

 - 経費率、材料比率、医薬品比率

- ・ **顧客の視点**

 - 職員1人1日当患者数(入院)(人)

 - 医師1人1日当患者数(入院)(人)

 - 看護職員1人1日当患者数(入院)(人)

 - 事務部門職員1人1日当患者数(入院)(人)

 - 事務部門職員1人1日当患者数(外来)(人)

- ・ **財務の視点**

- 職員1人1日当診療収益(円)

- 医師1人1日当診療収益(円)

- 放射線部門職員1人1日当診療収益(円)

- 外来患者1人1日当診療収益(円)

- 検査1件当請求額(円)

- 放射線撮影治療(円)

- 患者1人1日放射線撮影治療件数(入院)(件)

- 手術部門職員1人1日手術件数(件)

- 100床手術件数(件)

- 1日1台手術件数(件)

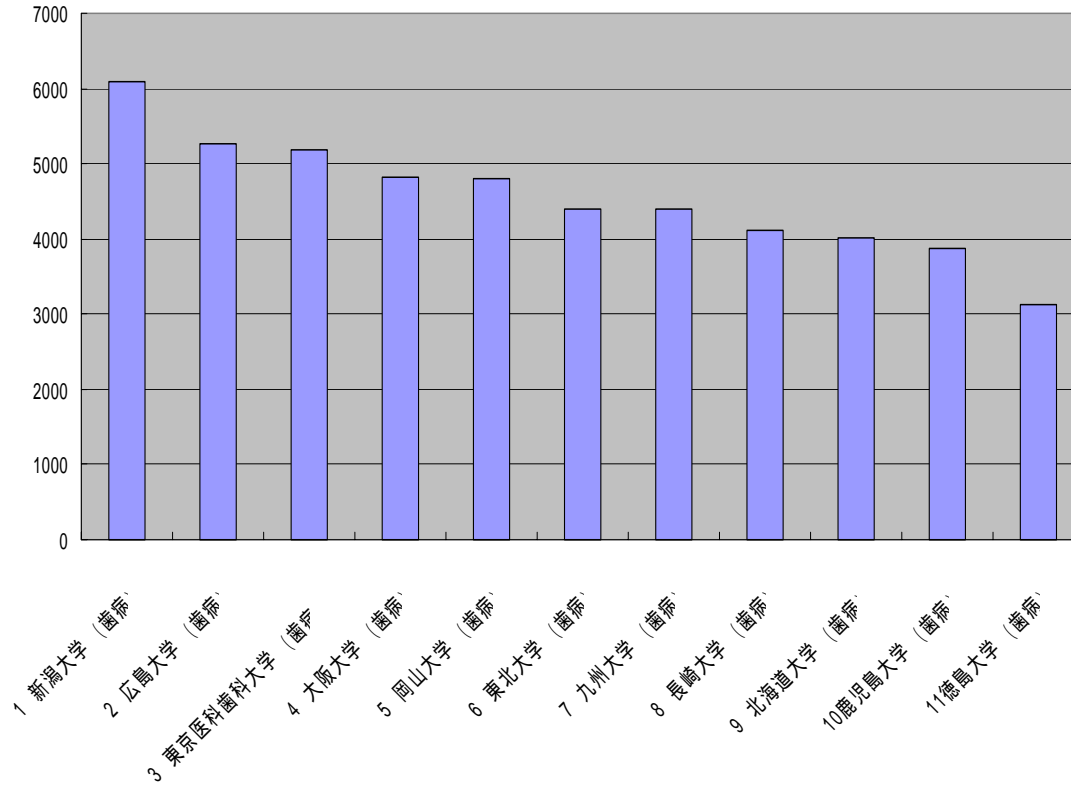
- 病床利用率

- 平均在院日数(全体)(日)

- 自己資本比率

- 固定長期適合率

基準3: ランキング



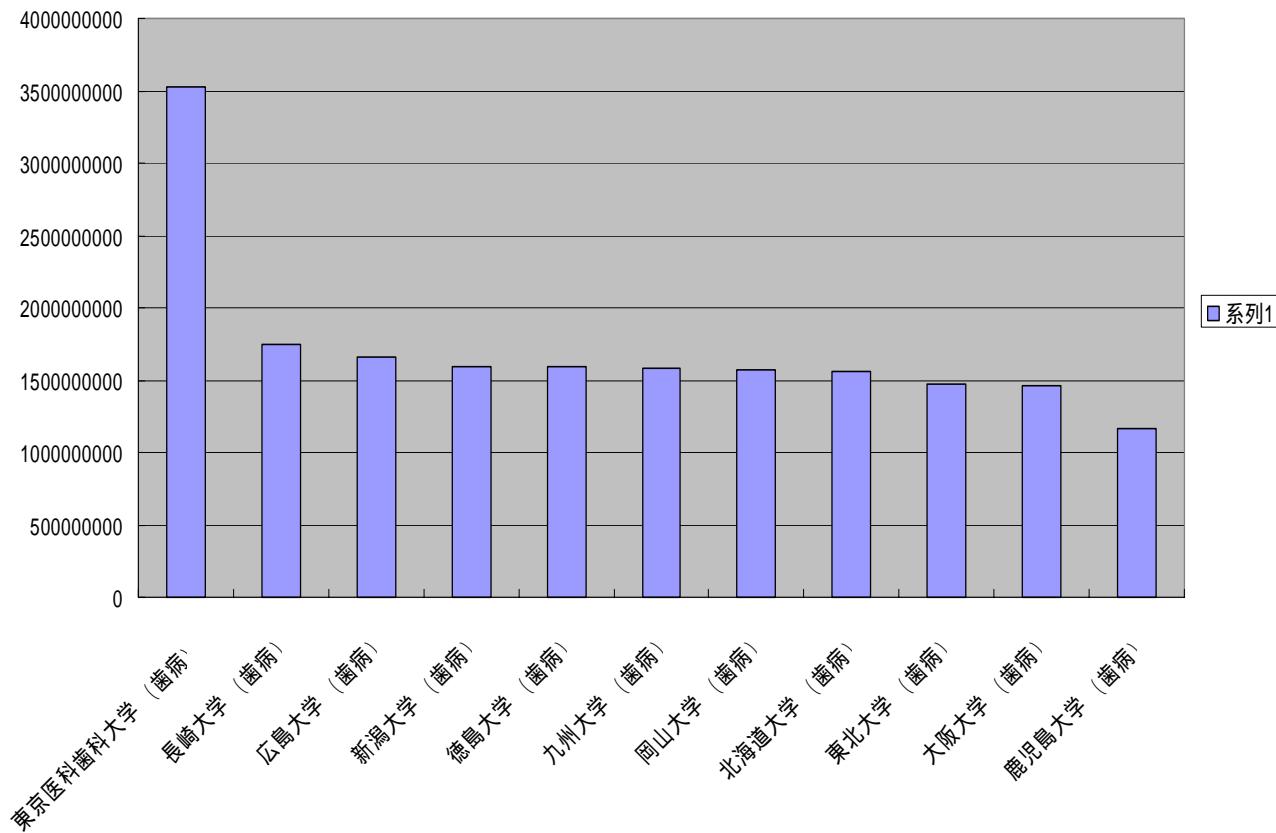
基準3 ランキング

1. 新潟大学 (歯病)
2. 広島大学 (歯病)
3. 東京医科歯科大学 (歯病)
4. 大阪大学 (歯病)
5. 岡山大学 (歯病)
6. 東北大学 (歯病)
7. 九州大学 (歯病)
8. 長崎大学 (歯病)
9. 北海道大学 (歯病)
10. 鹿児島大学 (歯病)
11. 徳島大学 (歯病)

一般会計よりの受入ランキング

1. 東京医科歯科大学(歯病)
2. 長崎大学(歯病)
3. 広島大学(歯病)
4. 新潟大学(歯病)
5. 徳島大学(歯病)
6. 九州大学(歯病)
7. 岡山大学(歯病)
8. 北海道大学(歯病)
9. 東北大学(歯病)
10. 大阪大学(歯病)
11. 鹿児島大学(歯病)

一般会計より受入



一般会計より受入

被説明変数: 一般会計より受入

説明変数: 基準3の指標

有意性の認められた指標: 1. 外来入院患者比率
2. 経費率

回帰式 $Y = 895996.549X1 + 35055302.5X2 - 8.71 \times 10^{-8}$

一般会計より受入: Y

外来入院患者比率: X1

経費率: X2